

## 現地情報

### 耕畜連携放牧(デリバリーカウサービス)で遊休地や耕作放棄地を解消しましょう!!

美方郡農業改良普及事業推進協議会但馬牛部会（JAたじま、香美町、新温泉町、新温泉農業改良普及センター）では、2015年度から遊休地や耕作困難な農地等の保全方法を模索している集落等に畜産農家から牛を借り受けて遊休地等を管理する「デリバリーカウサービス」を推進している。

#### 取組の背景

美方郡では、農家の担い手の高齢化や獣害により、遊休地や耕作放棄地が増加している。そこで、2015年度から、畜産農家から牛を借り受けて農地を管理する「耕畜連携放牧」を推進している。

#### デリバリーカウの登録と集落のマッチング

畜産農家の派遣放牧牛の登録は、4～5月に開催される各町の畜産関係の総会で案内を実施している。集落や耕種農家には、各町の農区長会等で耕畜連携放牧の募集を行っている。集落と畜産農家とのマッチングについては、随時行っている。

その結果、2015年度は、1集落と1畜産農家で牛3頭が放牧され、2016年度は、5集落で、延べ34頭の但馬牛が面積7.5haに放牧された（写真1）。

#### 放牧で期待できる効果

集落においては

①草刈作業の省力化とあわせ、遊休農地等の美化が図れ、集落の景観が良くなる（写真2）。

②野生動物の出没が減りつつある。

③子どもたちが牛を手軽に見学でき、情操教育に役立つ。

畜産農家においては

①牛の足腰が強くなることで分娩が楽になり、回復も早く繁殖成績の向上が期待できる。

②牛舎での飼養管理が省力でき生産コストの低減、増頭につながっている。

③親牛の発情発見、子牛の管理に集中できる。

#### 今後の方針

新温泉農業改良普及センターでは、JA、各町など関係機関と連携しながら、デリバリーカウサービスを推進する。耕作放棄地等の解消と農地の保全を進め、放牧を通じて繁殖和牛経営の安定化を図る。

喜多 洋元（新温泉農業改良普及センター）

（問い合わせ先 電話：0796-82-1161）



写真1 放牧中の様子



写真2 放牧後の様子

ひょうごの農林水産技術 No.198 (2017.8) ※本内容は、当センターホームページにも掲載

平成29年8月15日

兵庫県立農林水産技術総合センター (0790) 47-2408